

自分も相手も尊重する人間関係を築くために 62の自治会で「人権を学ぶ会」を実施

今年度も人権を尊重するまちづくりを推進する取り組みの一つとして、町民一人ひとりが学ぶことをきっかけとして、“個性を認め合い、互いの心に寄りそうまち”をめざして「人権を学ぶ会」が9月3日から11月15日にかけて62の自治会で開催されました。

人権を学ぶ会を実施した62の自治会のうち、58の自治会で町推奨教材DVD「要配慮者の備えと避難行動」を視聴し、災害と人権について学習しました。

～参加者アンケートから～

「地域のつながりの大切さを考えることができた」、「普段からの近所付き合いが大切ということを改めて感じた」などの感想をいただきました。

地域のつながりにおいて、お互いを大切に思うことは人権の基本的な考え方であり、今年度の学習内容が、「困ったときはお互いさま」の人と人のつながりを大切にし、自分も地域の人も尊重することを改めて考えていただく機会になったことが伺えます。

「人権を学ぶ会」をきっかけに、自分も相手も尊重する誰にもやさしい地域づくりを進めていきましょう。